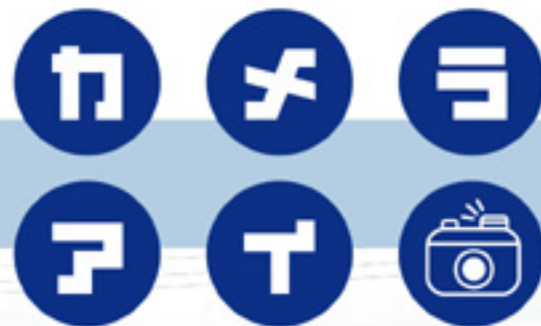




先月の福井県政の動きを、CHECK!



その五 原子力と地域産業の共生

エネルギー研究開発の拠点化に向けて

エネルギー研究開発拠点化計画策定委員会の初会合が、5月19日、県国際交流会館で開催されました。委員会には西川知事や河瀬教育市長のほか、坂田文部科学省研究開発局長、日下経済産業省資源エネルギー庁長官ら17人が出席。原子力と地域産業の共生に向け、研究開発機能の強化や人材の育成、産業の創出・育成などを柱に議論を進め、来年1月をめどに計画を取りまとめる方針です。



その四 県庁で「とれたてふくいのみ」

県庁1階・県民ホールの無料貸し出し開始

県庁1階・県民ホールの無料貸し出しが始まり、第1回は、県内の農水産物や加工品を販売する「とれたてふくいのみ」を5月14日に開催しました。奥越などの農産物直売グループや、越前町の海産物の行商、県産大豆の加工業者など9団体、個人が参加し、水ぶきやわらびなどの山菜や魚の干物、豆腐などを即売。新鮮な地場産品を求める来場者でにぎわいました。

県民ホールの貸し出しは無料で、平日の午前8時から午後5時まで利用できます。詳しくは、県財産活用課（電話0776・20・0252）まで。



その一 120人がコシヒカリの代表銘柄5種を田植え

「コシヒカリのふるさと・福井」をPR

国際JOMX年である今年にちなんで、「コシヒカリのふるさと・福井」をPRする「コシヒカリ2族大集合イベント」が5月8・9日に県農業試験場で開催されました。

イベントでは、「コシヒカリ」とその子孫品種30種が栽培展示されたほか、県内外から訪れた参加者120人が、「コシヒカリ」やその子孫である「あきたこまち」、「ひとめぼれ」など、5品種の田植えを体験。西川知事も飛び入り参加し、「コシヒカリの生誕地・福井をアピールしました。」



その三 若者の就職活動をサポート

「ふくいJob Café」開設

県若者就職支援センター（ふくいJob Café）が5月10日、福井商工会議所ビル1階に開設、概ね35歳未満の若者を対象に就職相談などの一部業務を開始しました。

センターには自分で職業適性診断ができるパソコンを導入し、就職に関するビデオや図書も設置。職員8人が個別に就職相談や職業訓練のアドバイスなどを行います。全面的に業務を開始する7月5日からは若者向けのハローワークも併設し、職業あつせん業務も始まります。

お問い合わせは、ふくいJob Café（電話0776・32・4510）まで。



その二 南越までの工事認可求めて政財界が一丸

みんなの力で走らせよう! 北陸新幹線

県北陸新幹線県内着工実現大会と県北陸新幹線建設促進同盟会総会が5月9日、福井商工会議所ビルで開催されました。

同盟会会長の西川知事は「新幹線は福井にとって大事な公共事業。総力を結集し、県内着工が実現されるよう国および関係機関に強く働きかけていきたい」と決意を述べました。

与党の基本計画見直し案が取りまとめられる重要な局面を迎える中、県内各界各層約650人が本県の要望の実現に向け、一致協力して全力で取り組むことを決議しました。



その六 車両側面にデザインシール

JR小浜線「電力生産地」PRの電車運行

「電気も元氣福井の特産品です。」のキャッチコピーを付けた電車がJR小浜線（敦賀―東舞鶴間）を運行し、電力生産地としてのPR活動に役買っています。

関西地域で消費される電力の約60パーセントが小浜線沿線の嶺南地域で生産されていることから、県と嶺南地域振興推進協議会が福井の「県産品」として観光客にアピールしようと始めました。

デザインシールを貼った電車は、7月いっぱいまで若狭路を走り、電力生産地福井をアピールします。

